

ともかわさきパラアートニュース

第6号 令和2年10月発行

ともかわさきパラアート活動

社会福祉法人ともかわさきは、地域における公益的な取組みとしていくつかのパラアート活動を展開していきます。「ともかわさきパラアート絵画展inパブリック」は事業所利用者の描いた絵画を公共視点のある場面に展示する活動です。「パラアート絵画活動 in ひらま」はパラアート絵画教室をなかはら障害福祉施設ひらまで開催し障害のあるなしに関わらずアートで地域と交流する活動です。「ともかわさき事業所パラアート活動」は事業所利用者の作画活動を支援しさまざまな展示会にも参加する活動です。「パラアート活用事業」はパラアート作品を活用した自主製品づくりブランディングプロジェクトです。

はじめられたもの、これからのものがありますが、これからも地域でのパラアート活動の輪を広げていきたいと願っていますので、ご支援をいただければ幸いです。

<アトリエひらま withFLATの開催>

「パラアート絵画活動 in ひらま」、事業、障がいのあるなしに関わらずアート活動で地域と交流を行うインクルーシブ絵画教室を10月3日（土）に開催しました。

会場はなかはら障害福祉施設ひらまの会議室、講師はNPO法人 StudioFLATの大平理事長です。初めて参加者を公募しましたが、なんと募集人数はすぐにいっぱいになる盛況。主催事務の相談交流ひらまのスタッフもほっとしていましたが、「参加いただけなかった方たちには申し訳ない次の<アトリエひらま>を」と言っております。



参加いただいたのは障害のあるなし関係なく15名。保護者の方々、ボランティアさん、ひらまの生活支援員、川崎市文化財団の方も一緒にアートづくりを楽しんでいただけたのではないのでしょうか。パラアート活動を支援している川崎市文化財団からも後援をいただいている絵画教室ですので、社会福祉法人として「地域における公益的な取組みともかわさきパラアート活動」として定着させていきたいと思っております。

<川崎市障害者作品展に出展>

ともかわさきの生活介護事業所「かざぐるま」から出展しますとの連絡をいただきました。ともかわさきパラアート振興基金から提供予定の絵を入れる額も「かざぐるま」自前で用意するとのこと。法人内もパラアート活動がひろがっているようです。

令和2年度川崎市障害者作品展は、川崎市と川崎市障害者社会参加推進センターの主催で、川崎駅北口アートガーデンかわさき第1展示室で12月16日（水）から20日（日）まで開催されます。絵画だけではなく写真・書・文芸・工芸作品も展示されています。

<新川崎タウンカフェで販売開始>

10月1日からです。ともかわさき事業所の製作品をJR鹿島田駅、新川崎駅近くのパークタワー新川崎1階にある「新川崎タウンカフェ」の専用販売棚で販売を開始しました。

従前からともかわさき各事業所では、いろいろな製品を作製して、事業所でのバザー、川崎信用金庫本店ロビーや溝の口駅コンコースなどのふれあいバザール、ともかわさきで作成するふれあい製品カタログなどで販売を行っていました。

今回の新たな販売チャネルで、どのような製品が人気になるのか、また常時展示販売することで判ることもあるのでは、今後の製品作製に活かせるようにできればいいと思います。

皆様、鹿島田においでの際は、ちょっとお立ち寄りいただければ嬉しいです。

<パラアート絵画をCOLORSかわさき2020展へ>

ともかわさきの「パラアート絵画教室」や事業所で出来た作品を「COLORSかわさき2020展」に応募しています。ともかわさき生活介護事業所「ひらま」から5点、「第1やまぶき」から1点、「どりーむ」から5点、「すえなが」から5点、の計16点を出展予定です。今年は残念ながら「たちばな」からは応募できませんでした。

「COLORSかわさき2020展」は11月11日（水）から21日（土）まで川崎駅西口ミューザ川崎企画展示室で開催されます。入場無料

【ともかわさきパラアート振興基金令和2年度第2四半期】

2020年（令和2年度）			第2四半期(7月～9月)	
	収入	支出	収支	内訳等
2.07.01	6870		6870	繰越金
2.07.22	133		7003	ドリーム画材概算払い差金
2.08.24		440	6563	フレーム4
2.09.25		330	6233	フレーム3
合計	7003	770	6233	

<基金収支>

収入は概算払い差金133円、支出はフレーム770円で収支は6,233円となりました。